

第51回徳島県高校放送コンテスト

番組部門上映時間

No.	作品名	よみがな	ジャンル	時間	学校名	制作意図・作品概要	
ラジオ部門							
1	広げろ！国際支援！～チョコレートのワ～	ひろげろ！こくさいしえん！～ちょこれーとのわ～	ラジオドキュメント	予選通過 8作品を上映	城東高校	城東高校には「外国語部」通称「外語部」という部活があり、日々国際的な問題について思慮を巡らせています。外語部の活動の一つにフェアトレード商品の販売があります。これを行ったことで城東生のフェアトレードに対する認知度が高まり、国際的な問題を解決しなければならないという気持ちも芽生えました。同じ地球上に暮らす幼い子供たちを救うために、今の私たちには何ができるのか、私たちなりに考えまとめました。	
2	選択と決断	せんたくとけつだん			徳島市立高校	あなたは人生に関わる選択をしたことがありますか。その時「正解」はあるのでしょうか？真剣に考えたからといって思った結果が得られるとは限りません。進路に悩んでいる一人の男子生徒にスポットライトを当てこの作品を作りました。彼の選択を聞いてみなさんも自分のことについて考えてみてください。	
3	焼きたて！！僕らの市高パン！！	やきたて！！ぼくらのいちこうぱん！！			徳島市立高校	徳島市立高校に入ってから、高校の食堂のパンは焼き立てだといつも思っていました。しかし、「焼き立てパンを学校で食べることができる」は徳島県内では徳島市立高校だけ。」という事を知りました。そこで、徳島市立高校の先生・生徒は、このことを　どう思っているのかということ取材しました。	
4	ありのままのあなたで	ありのままのあなたで			徳島北高校	私たちは日頃本心のみで話していません。場の空気を読んだり、時には友達とぶつかり合うことを恐れたりするからです。そのため、自分の言いたいことを飲み込んでしまうこともあります。相手や自分自身と向き合い伝えあう大切さをテーマに制作しました。	
5	大好きで嫌いな友達	だいすきできらいなともだち	城東高校		普段仲の良い友達に劣等感を抱いてしまうことは誰にでもあるのではないのでしょうか。また、友達に対して素直になれなかったり、冷たい態度をとったりしてしまうこともあるはずです。そんな時は、きちんと友達や自分の感情と向き合せて気持ちを整理することが大切だと思います。そうすることで、より仲を深められるのではないかと、そんな思いから制作しました。		
6	7時になりました	7じになりました	城東高校		「人生は選択の連続である」という言葉があります。大小さまざまな選択、時には失敗を通して、私たちは大切なことを学んでいきます。その際に判断材料とするものは人それぞれですが、たとえば、占い。占いを信じすぎて……というのはありふれた話ですが、いつしか信じすぎて、その人の人格さえも変わってしまう。それはなんと恐いことではないか。そう考え、この作品を制作しました。		
7	夢を追う	ゆめをおう	徳島商業高校		今回の話は夢を題材とした物語です。この物語は夢を追っていくうちに壁にぶつかった主人公がある日テレビに出ていた憧れの声優が言った一言で、答えを見つけることとなります。夢が必ずしも叶うとは限りませんが、初めから叶わないと諦め、努力しないよりも叶うと信じ努力する姿が美しいのではないかと思います。この話を聞いて下さる方々に、夢を追い続ける勇気を持ってもらいたいと思いこの話を制作しました。		
8	十七歳の夏休み	じゅうななさいのなつやすみ	富岡西高校		関わり合いに淡白であった主人公が様々な感情を知る夏休みをテーマに製作しました。ラストは主人公の祖父と主人公が17歳で残した後悔を主人公の孫にまで引き継いでしまうかもしれないという怖さを表現しました。ハッピーエンドやバッドエンドなどわかりやすい結末にはせずに、聞き手の解釈にある程度委ねることによって作品の幅を広げました。		
9	移り鏡	うつりかがみ	富岡西高校		人権の学習などでよく言われる「相手の気持ちになって考える」という言葉があります。それに対して、生徒が返す言葉は「他人にはなれないからそれは無理だ」に尽きます。しかし、それで終わらせていい問題では決してないのです。このラジオドラマではフィクションでしか出来ない他人の気持ちになるということをコンセプトに作りました。		
10	夏の大三角	なつのだいさんかく	協町高校		生きている限り、いくつもの困難が私たちの前に立ちちはだかってきます。そんなとき、どう立ち向かっていけばいいのでしょうか。その答えは、「誰かと協力すること」にあると思うのです。家族、兄弟、友だちなど、周りの人々と力を合わせれば開ける道はあるはずです。その人たちの絆があれば、先行きを照らしてくれる光が見えてくる……。夏の星座に託してそんなことを伝えたいと思い、脚本を作成しました。		
11	僕は世界最後の日にどうしてもあの子とデートがしたい	ぼくはせかいさいごのひにどうしてもあのこでーとがしたい	徳島市立高校		最近、日本では異常気象が続いています。竜巻が起こったり、五月なのに猛暑日だったり。そんな毎日ですが、私達の間では異常気象が話題として日常会話にあがることはありません。本当に深刻な問題だとらえている人が何人いるのでしょうか。この話の主人公さとし君は私達自身です。大変なことになっても結局他人事なさとし君。本当に彼と自分は違うと言い切れますか？環境問題を通して自分を見つめ直す機会となればうれしいです。		
12	LAST STARDUST	らすと　すたーだすと	富岡東高校		今回のラジオドラマは「約束」をテーマにしました。昔、約束を守れなかった少女と、今でも約束を果たしたいと思っている少女の思いがそれぞれ展開するストーリーを書きたいと思い、制作しました。少しの寂しさとの温かさを感じる物語になればと思います。		
13	理科室の記憶	りかしつのきおく	城北高校		「人体模型ゆえに語れない。人間だったらこの危機から救えるのに。」一部始終を知りながらも、伝えることができない悲しさやどうすることもできない無力感。私たちは「いじめ」という非道ともいえる行為にどう対処するのか。理科室での出来事を人体模型の目を通して語るにより、いじめの本質に迫りたい。そして、加害者や被害者だけでなく、第三者として人間らしさとは何かを改めて考えたいと思い、制作しました。		
14	一寸先は闇	いっすんさはやみ	城北高校		高校生の多くが所持しているスマートフォン。そのスマホにダウンロードできるSNSアプリによって友達との何気ない話は一日中行われます。アプリは今や、クラスや学校、さらには国を超えて世界中の人と繋がることができる便利な魅力的なものとなっていますが、その反面、安易な発言でトラブルに巻き込まれているのも事実です。私達は改めてネット利用における自分の発言に責任を持たなければならないと考え、制作しました。		
15	嵐のおか	あらしのおか	徳島北高校		この作品の主人公は、私たちと同じくいのまだ大人になりきれない女の子です。大きな変化や、つらい出来事が起きて立ち直れなくてもいつかはそれを乗り越えて、前を向く。それは生きる上で大切なことの一つです。ふさぎ込んでしまった女の子が立ち直るきっかけを描くことで、強く自由に生きていくことの大切さを伝えようとの作品を制作しました。		
昨	超能力を　手に　入れた！▼	ちょうのうりよくを　てに　いれた！▼	創作ラジオドラマ		城北高校	★昨年度最優秀作品	
テレビ部門							
1	オーケストラ部からの贈り物	おーけすたらぶからのおくりもの	テレビドキュメント	予選通過 8作品を上映	城東高校	高校生活(青春)の大きな要素のひとつである部活動。県大会や全国大会出場に向けて毎日厳しいトレーニングに励む運動部、自分の能力や技術を高めるためにこつこつ努力する文化部、種類は違えどそれぞれにやりがいがあり、それぞれに楽しみ方がある。二年間地道に練習に励んできたオーケストラ部の3年の最後の活動になる定期演奏会への日々を追い、それから学んだ部活動のあり方を本作でまとめた。	
2	つなげていこう正しい敬語	つなげていこうただしいけいご			阿波西高校	学校生活の中で欠かせないこと、それは目上の人と話すときに使う敬語です。私たち高校生は正しい敬語を使っているのか疑問に思い、本校の先生や他校の先生に敬語についてインタビューしてきました。時代の変化に伴い、敬語について関心を持たなくなった今、私たち高校生から正しい敬語をつなげていきたい！という思いを込めて制作しました。	
3	47通目の手紙	47つうめのがみ			徳島市立高校	徳島市立高校の四宮先生は、教員になる前、3年かけて世界中に自転車で手紙配達をされたそうです。私たちには今は経験できないことですが、先生の思いや努力に少しでも近づけるよう、旅を再現してみました。そして、授業等で私たちにたくさんの事を教えてくださった先生への私たちの気持ちをこめて作りました。	
4	ROAD～かけがえのないもの～	ろーど～かけがえのないもの～			徳島市立高校	私たちが普段何気なく通っているさわかロードに興味を持ったのでこの作品を作りました。	
5	高校生あるある～お悩み解決編～	こうせいあるある～おなやみかいけつへん～			富岡東高校	友達との会話で授業中にお腹が鳴って困った、という話や、実際に授業中に周りの人のお腹が鳴っているのを聞いたことがあったので、私たちはお腹が鳴るということに悩んでいる人もいるのではないかと考え、その人たちの悩みを解決するとともに、高校生活を送る上で、何か役立つ情報を皆さんに伝えたいと思いこの作品を制作しました。	
6	言葉の刹那～SNS上のコミュニケーション	ことばのせつな～えすえぬえすじょうのこみゆにけーしよん			富岡東高校	最近、『LINE』で友達と会話をしていて、意味が分からない単語が送られてきて戸惑った経験があります。調べてみるとSNS上では他にもたくさんの新しい言葉が生まれてきていることを知りました。若者の中にはこのような言葉を使う人もいるのかと興味を持つと同時に、相手に誤解を招くことはないのか、また、大人はどのように思っているのか疑問に思い、詳しく調べてみることにしました。	
7	北高ロードに架ける橋	きたこうろーどにかけるはし			徳島北高校	今年で創立二十周年を迎える徳島北高校。その節目に周りに目を向けてみると「北高ロード商店街」という存在が見えてきました。身近にあるけれど見えていなかった「北高ロード商店街」をもっと知りたいたいと思い、この作品を作りました。	
8	守るべきもの	まもるべきもの	創作テレビドラマ		城東高校	選挙権が18歳以上の国民にも与えられ、自分で正しい判断をする事がさらに必要になった。私たちは気付かないうちに理不尽なものを受け入れていたり、誤った判断を気付かずに行っていたりすることがあるのではないかと。例えば、校則とは私たちが守るべきものだが、それが私たちに被害を与え、私たちを縛るようなものだったら。自分がそれに縛られていると気付いていなかったら。私たちは与えられる情報を自分で判断することの大切さを伝えるべく、この作品を制作した。	
9	My Own Road	まい　おうん　ろーど			徳島文理高校	高校生なら必ず直面する悩み、「進路」それはみんな一人ひとり違っていて、誰かに決めてもらうものでもなく、いい加減に決めていいものでもありません。自分は何をしたいのか、どんな将来が自分にとって良いのか・・・そんな高校生達のリアルな姿を表現できたらと思い、制作しました。人数が少なく、期間も短かった中での徳島文理高校の初挑戦、ぜひご覧ください。	
10	「伝われ、想い。」	つたわれ、おもい			徳島北高校	相手に自分の気持ちを伝えたいけれど、伝えられない！皆さんはそんなもどかしい思いをしたことはありませんか？相手に自分の気持ちを伝えるべきか否か、主人公ヒロミを通して考えてみてください。そして、恋愛や友情だけでは味わえない、高校生の甘酸っぱさを体験していただけたら幸いです。	
昨	行雲流水	こううんりゅうすい	創作テレビドラマ		徳島市立高校	★昨年度最優秀作品	

※予選通過作品は大会当日開会式で発表します。